

私立大学図書館協会東地区部会研究部  
2012年度第1回運営委員・研究分科会代表者合同会議事録

日時：2012年5月18日（金） 15:00～16:55

場所：東京農業大学「食と農」の博物館2階 セミナー室

出席者：【研究部運営委員】

小川 英一（神奈川大学）、小林 愛（東京理科大学）

齋藤 雅彦（専修大学）、鈴木 学（日本女子大学）

高橋 正広（早稲田大学）、萩原 昌幸（明治学院大学）

（事務局）合田 豊二、黒川 孝明、山本 浩二、柴本 鋼平（研究部担当理事校・東京農業大学）

【研究分科会代表者】

[分類] 藤倉 恵一（文教大学）

[パブリック・サービス] 太田 優未（立正大学） 奥井 翔太（文化学園大学）

[西洋古版本] 岡田 勢一郎（共立女子大学） 宮原 柔太郎（日本体育大学）

[企画広報] 島田 貴司（立正大学）

[和漢古典籍] 鶴田 香織（大東文化大学） 山岸 いつみ（共立女子大学）

[L-ラーニング学習支援システム] 小田切 夕子（麻布大学）

欠席者：新井 圭子（慶應義塾大学）、伊藤 義裕（青山学院大学）

議事に先立ち、出席者の自己紹介があった。

議題：

1. 研究分科会の廃止・休会について

第2回運営委員会にて、下記の通り廃止および休会となることで承認されたことの報告があり、了承された。

【廃止】 図書館運営戦略

【休会】 逐次刊行物、理工学、情報リテラシー教育、レファレンス

また、分科会の今後の発展に向け、下記の3点について運営委員会で議論があり、今後も検討を続けていくとの報告があった。

- ① 各研究分科会参加者の職場にて、活動参加に対して理解いただけるよう積極的にPR（報告等）を行なっていくのはどうか？
- ② 更新時期について、運営委員会にて見直しをする。  
⇒代表者より、「秋更新が良いのではないか？」「変更する際、活動に切れ目がないように調整いただきたい。」との意見があった。
- ③ 各大学が研究分科会の活動を認めていながら、参加しにくい状況があるのではないか？

2. 2012年度研究部活動計画（案）及び予算（案）について

資料1-1～2に基づき説明があり、了承された。

3. 2012年度研究分科会の活動計画について

各研究分科会代表者より資料2-1～6に基づき説明があり、了承された。

#### 4. 2012年度研究会（交流会）について

資料3に基づき説明があり、代表者より下記のとおり提案があった。今後、運営委員会で再度検討し、回答することで了承された。

- ① 研究分科会活動報告の発表時間について、5分では短いため、「10分以内」という形に変更してほしい。
- ② 参加者について、研究分科会の会員や役員だけでなく、図書館員であれば誰でも参加できるように変更してほしい。また、要項の表現も参加しやすいよう積極的にアピールするような表現にしてほしい。
- ③ 内容にある「研究分科会活動報告」について、各分科会のPRも含めてはどうか？

※ 開催日時：2012年11月16日（金）、会場：専修大学生田キャンパス

#### 5. 研究分科会マニュアル2012年度版について

資料4に基づき説明があり、一部修正のうえ了承された。

#### 6. 分科会関連業務の分担について

資料5に基づき説明があり、了承された。今後、運営委員会においてわかりやすい表記に修正することとした。

#### 7. 協会ホームページについて

資料6-1～2に基づき説明があり、了承された。

#### 8. 2012年度私立大学図書館協会スケジュールについて

資料7に基づき説明があり、了承された。

#### 9. 研究分科会代表者について

資料8に基づき説明があり、一部修正のうえ了承された。

#### 10. その他

##### (1) 刊行物について

分科会の活動報告を提出いただく際、まだ刊行されていないものについては、「刊行予定」と表記を統一することで了承された。

##### (2) 各分科会の予算配分について

担当理事校より、一定の繰越金以上については研究部に返金していただき、必要な場合に申請いただくことで代表者の管理する負担を減らせるのではないかという提案があった。代表者からも賛成意見をいただき、今後の運営委員会の検討事項とした。

##### (3) 研究分科会再開願について

担当理事校より、研究分科会再開願について、企画広報研究分科会代表者へ再開願の提出を依頼したとの連絡があった。

以上、議事を全て終了し、閉会した。